

- 電気電子情報工学科同窓会総会・懇親会便り
- 電気電子情報工学科近況
- 電気電子情報工学科の研究プロジェクト
- 工学専門プログラムのJABEE審査結果について
- 会員の近況・思い出



総会後懇親会で挨拶の藪田会長

神奈川大学
電気電子情報工学科同窓会
会報

平成17年9月 No.13
〒221-8686
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学
電気電子情報工学科同窓会
TEL:045-481-5661(大学代表)
FAX:045-491-7915(大学代表)

E-mail: dousoukai@or.tv
<http://www.dousoukai.or.tv>

総会・懇親会便り

平成16年度総会・懇親会は十一月二十八日(日)に開催されました。当日は大野主任他先生方、退職された〇〇の先生方を交え懇親を深め和やかな内に閉会となりました。今年度は10月16日(日)に開催します。学内は新しい建物も建ち公開空地とされ大きく変貌しています。また当日は大学主催のホームカミングデイも開催されますのでこの機会に是非多くの同窓生の参加をお待ちしています。

電気電子情報工学科近況

神奈川大学工学部電子情報フロンティア学科へ変革

今回は、卒業生の皆様へ電気電子情報工学科の改革の様子をお知らせいたします。皆様からのご意見をお待ちしております。

神奈川大学工学部電気工学科は、

昭和14年4月(1939年)に創立された電気工学科を基礎にして、昭和16年4月(1967年)に修士課程が新設され、平成2年4月(1990年)に博士課程が増設されました。学科創設以来、すでに50年以上が経過し、約10000人の学部卒業生を輩出し、また200名以上にのぼる修士課程終了者、10数名にのぼる博士課程修了者と共に社会で幅広く活躍されています。その間、時代の変革に伴って、日本の産業構造も変わり、情報産業の発展を考慮し、学科名を電気工学科から平成13年(2001年)に電気電子情報工学科へ名称変更をいたしました。さらに少子化時代にふさわしく、工学部全体が学科改組を行い、電気電子情報工学科は、平成16年度から電子情報電子情報フロンティア学科と変貌することになりました。この新しい学科名、どういう教育を行うのか、卒業生の皆様にお知らせとご意見を賜りたく、詳しく説明いたします。まず、キャッチフレーズは「電子と情報の技術融合が産み出す革新のフロンティア領域」、21世紀社会に「夢の道具」を提供できる技術者育成」を掲げています。次に教育理念として、電子情報フロンティアは現代文明を支える中心技術として誕生した新領域です。たとえ

(2) 第13号 神奈川大学工学部電気電子情報工学科同窓会会報

- ばインターネットとコンピュータチップの融合が新しいデジタル家電を産み続けているように、この領域では従来は考えもおよばなかった新製品・新サービスが次々に開発されています。そうした継続的な技術革新にも長期にわたって対応できるように、基礎学力と応用センスを共に身に着けた「新時代の技術者」を育成します。これによって、9つの力を身に着けた電子情報フロンティア技術者を目指します。
1. 総合大学の利点を活かした幅広い視野と教養が支える「活動力」
 2. 現代社会に技術者が果たすべき役割と責任の自覚した「倫理観」
 3. 数学・物理・情報の基礎知識と応用能力が培う論理的「思考力」
 4. 幅広い専門知識で急速な技術進歩にも適応し続ける「就業意欲」
 5. 工学的スキル・センスに基づき問題解決を行う大局的「判断力」
 6. 計画的な研究体験を通じてデザイン能力を育む多面的「発想力」
 7. および、生涯にわたって自己学習を継続的に言い得る「学習力」
 8. 発表や討論でのプレゼンテーションを効果的に進める「表現力」
 9. 社会的・国際的なコミュニケーション能力がもたらす「交心力」などの要求にこたえ、これら技術者の活躍を通じて人類の発展と幸福に貢献する「工学の使命」を果たします。
- フロンティア 科目群
電子情報フロンティア領域を、道具—生活—社会の3つのスケールと、時間—空間—人間—未来の4つのドメイン(対象領域)で整理して、技術の全体像が把握できるような「科目を留意しました」
- 当学科の研究プロジェクト「チップ上に広がる人間環境系を支える知能集積技術」は2004年度文部科学省ハイテクリサーチセンターに採択されました。今後、5年間にわたって5億円以上の研究費の援助を受けることになっています。2月下旬に研究成果発表会を行いました。今年度も研究会を予定しています。是非、卒業生の皆様も参加され、お互いに研究成果を発表し、研究成果を共有していきたいと考えています。詳細はハイテクリサーチセンターのホームページをご参照ください。

平成16年度神奈川大学電気電子情報工学科同窓会収支二(案)

平成16年6月1日から平成17年5月31日まで

収 入		支 出	
会費 (終身会費×18人) (年会費×185人) (その他×7人)	682000	通信費	606660
預金利息(4月1日)	161	印刷費	202860
平成15年繰越金	4790022	レンタルサーバー代	8820
収入合計	5472183	会費	1160
		懇親会赤字補填	35000
		次年度繰越金	4617683
		支出合計	5472183
		収入合計-支出合計	0

平成17年度神奈川大学電気電子情報工学科同窓会予算(案)

平成17年6月1日から平成18年9月30日まで

収 入		支 出	
会費	700000	通信費	620000
預金利息(4月1日)	160	印刷費	210000
		会費	2000
		レンタルサーバー代	8820
		DPE(懇親会/会報用)	2000
		事務用品	2000
平成16年繰越金	4617683	次年度繰越金	4473023
収入合計	5317843	支出合計	5317843
		収入合計-支出合計	0

○本学科工学専門プログラムのJABEE審査結果について
同窓会の皆様には、前号で本学科の「電気電子情報工学専門プログラム」が日本技術者教育認定機構(JABEE)より、認定審査を受けることをお伝え致しましたが、本年5月、正式に認定されました。詳しくは次のURLでご覧になれます。(http://www.jabee.org/OpenHomePage/accredited_programs_bunya.htm)

JABEEとは、大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、国際社会の要求水準を満たしているかどうかを、外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定し、公表する日本の機構です。また、本機構は本年6月、ワシントンアコード(WA)に正式加盟が認められました。

JABEE認定は2004年度以

降の専門プログラム修了者に適用され、本プログラムの修了生には技術士資格の取得に関する修習技術者の資格が与えられ、申請により技術士補の資格が与えられます。また、JABEEが本年6月WAに正式加盟を果たしたことから、WA加盟国（カナダ、米国（ABET）、英国、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド、香港、南アフリカ、日本（JABEE））間の相互認証が保証され、JABEE（日本）修了生はABET（米国）修了生と同じように、米国PE資格の取得に向けたFE試験を受ける資格が与えられることとなります。なお、WA加盟国数にしましては、現在、ドイツ、シンガポール、マレーシア、韓国、台湾が暫定加盟国であり、また、中国、ロシア、インド、タイ等が暫定加盟の準備をしており、これらの国が順次、正式加盟国となることが予想されます。

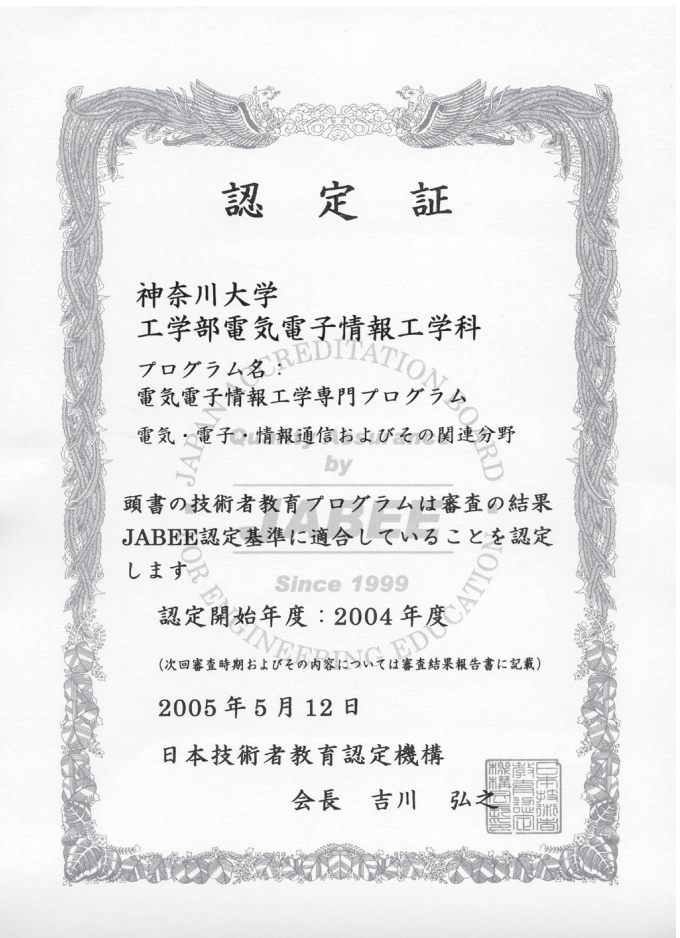
次に、JABEE審査について、認定審査項目は以下のようになっております。自立した技術者の育成に向けた教育内容の質・量、施設・財政・教員の質を含む教育環境、教育の成果評価、および継続

的教育改善システム等が厳格に審査され、学科のみならず、学部、大学全体に関わる総合教育力を問うものとなっております。

基準1：学習・教育目標の設定と公開
基準2：学習・教育の量
基準3：教育手段
基準4：教育環境
基準5：学習・教育目標の達成
基準6：教育改善

分野別要件：工学系各分野に関する要件

JABEE認定は2003年度に応用化学科が先行し、2004年度には機械工



学科、電気電子情報工学科、建築学科、経営工学科が認定されました。これにより、工学部全学科がJABEE認定を果たしたことになります。

このことは本学科のみならず、工学部全体の教育水準の高さが外部の機構により認められたこととなります。

JABEE認定を受けるに際しましては、アンケート調査等で学内、学外を問わず、多くの同窓生の方々のご支援を頂きました。JABEE認定プログラムは継続的な教育改善義務と審査が課せられております。今日までのご支援に感謝致しますと共に、今後の変わらないご支援をお願い申し上げます。

○32年勤めた東京電力を6月に退職し関東電気保安協会、千葉事業本部に就職しました。東電時代は、給電関係が長かったためいろいろな事に遭遇しました。たとえば61年の雪害事故、1日で600件もの事故がありました。62年の電圧崩壊事故は電力史上最も大きな停電事故でした。地震は、たくさんあり新福島、新富士、房総変電所では、トランスブッシングが破壊するという大きな被害がありました。導同火災は数回もあり都心供給が大変でした。珍しい事故は、2003の煙突が座屈、火力発電所のボイラ爆発などです。どれもをとっても大変な事故でしたが今となっては思い出深いものになりました。[昭和49年卒中沢元丸]

○神奈川大学電気工学科を卒業し大学院電気工学専攻を終了してから、15年になります。電力会社に入社しましたが、元々興味のあった通信事業会社に向かい、出向先で延べ8年になります。在校時代は、光デバイスの研究を行っていましたが、現在はその光デバイスが通信システムの中に多く取り入れられています。特に流行のFTTHつまり光ファイ

会員の近況・思い出

願い申し上げる次第です。

パ通信でも、注目されているPON（パッシブダブルスター技術）は、光ファイバーや光デバイスが重要な技術要素になっているのです。大学時代に研究したことが社会に役立っていくのは、大変喜ばしいことです。また、社会人になってから利用する能力の多くは、大学時代に学んだことと言っても過言ではないと思います。つまり、文章や作図、人間関係、上下関係、目標達成のための多少に自己犠牲など、大学時代に苦労しておくことは、自身の経験からも、社会人になってから大変役に立っています。今の大学生の皆さんにも、困難から逃げないで、是非、がむしゃらに頑張ってください。必ず後で良かったと思うはず。最後に、本同窓会が末永く活動していけることを願っています。「平成2年修了 大槻健一郎」

○現在地域自由団体の役員として活躍しています。今回の同窓会は残念ながら出席できませんが、出席の皆様には宜敷お伝え下さい。同窓会の益々の発展を望みます。「昭和19年卒小山富男」

○仕事に興味に人生を楽しんでおります。「昭和38年卒渡邊勇」

○当方昭和45年卒業と同時に関西家電メーカー(SA社)に入社し、TV, VTRの電子回路部設計に携わった後、現在半導体部門でアナログIC回路設計の仕事をしております。第12号同窓会報の中に知能集積技術が文部省研究プロジェクトに採択されたと書かれていましたが、どの様な結果が出てくるのか、楽しみにしています。「昭和45年卒仁志努」

○元氣ですが脚・腰不調歩行困難につき欠席させていただきます。盛会をお祈り申し上げます。「昭和18年卒小嶋七郎」

○老境に入ってから来ましたが、まだまだ青春のつもりで現役で頑張っております。皆様のご活躍、ご多幸をお祈り致しております。「昭和29年卒鈴木金治」

○現在は隠居して、デジカメで撮った写真をパソコンで処理して楽しんでいます。「昭和34年卒藤井徹」

○平成12年より息子と(有)H&Yをやっていきます。取り扱ひ製品としては「タビタビ」事業部「ニート」実写映像／印刷物「SDCS」の企画・制作／「ミッドナイト」映画製作／音楽制作／「ソノ販売事業」(PC事業部)床暖房PC面状発熱体「ハートメーカー」、清潔健康豊「洗える畳」の販売(鋼材事業部)各

種鋼材の加工・販売、熱交換機の加工・販売 <http://www.nktech.co.jp> です。「昭和43年卒道下建二」

○当日、先約があり出席できず残念です。退職して2年になります。今、川崎総合科学学校定時制の非常勤をしています。ここにも卒業生がいて母校(神大)の話が出ています。「昭和41年卒鈴木吉伸」

○今月82歳になります。長男の子が将棋女流四段の矢内理絵子。次男の長男は東大卒帝国「」に努めておりますが、曾孫が出来、私の名を取って仁美と言います。「昭和18年卒矢内仁」

○去年の今頃職業訓練で毎日神奈川大学に通っていたことを思い出します。4号館が3階建てなので新築かと思ったら424号室は元の研究室の場所、あの窓は20年前に鍵がないときに入りましたところ・・・神奈川大学も経済学部の先生方を中心に開かれた大学を目指し対外的な「」を充実させています。みなとみらいにも「」がありますので、たまには顔を出してみるのはいかがでしょう。「昭和57年卒滝沢信明」

- 訃報** 謹んでお悔み申し上げます。
- 吉田 敏殿(昭和5年卒(平成15年没)
 - 清水 保殿(昭和1年卒(平成15年没)
 - 土肥 重義殿(昭和1年卒(平成15年没)
 - 実成 剛吉殿(昭和1年卒(平成15年没)
 - 上野 敏雄殿(昭和1年卒(平成12年没)
 - 日比野 進殿(昭和1年卒(平成10年没)
 - 伊吹 富雄殿(昭和1年卒(平成12年没)
 - 田原 彦一殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 中島 久夫殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 坂脇 重次殿(昭和8年卒(平成10年没)
 - 佐々木 英男殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 金澤 秀生殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 黒澤 正殿(昭和9年卒(平成15年没)
 - 飛田 剛男殿(昭和9年卒(平成14年没)
 - 奥 信義殿(昭和9年卒(平成14年没)
 - 白鳥 信一殿(昭和9年卒(平成13年没)
 - 丹羽 健士殿(昭和9年卒(平成12年没)
 - 岡田 純殿(昭和8年卒(平成15年没)
 - 谷 慶彦殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 安藤 平三郎殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 日 順造殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 山内 博殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 村本 信夫殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 押尾 吉力殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 半根 幸男殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 山根 源治殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 鈴木 雄殿(昭和8年卒(平成13年没)
 - 原 春一殿(昭和8年卒(平成15年没)
 - 河村 信夫殿(昭和8年卒(平成15年没)
 - 池田 稔夫殿(昭和8年卒(平成15年没)
 - 井村 国義殿(昭和8年卒(平成13年没)
 - 長島 輝寿殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 沖野 殿(昭和8年卒(平成12年没)
 - 飯田 正徳殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 小 熊 健殿(昭和8年卒(平成16年没)
 - 大塚 享殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 永 尚 文殿(昭和8年卒(平成14年没)
 - 苗 忠 彦殿(昭和4年卒(平成16年没)
 - 清水 利通殿(昭和4年卒(平成10年没)
 - 小 笠 勝殿(昭和4年卒(平成16年没)
 - 高 橋 稔殿(昭和4年卒(平成14年没)
 - 島 山 誠治殿(昭和4年卒(平成12年没)
 - 中 村 浩殿(昭和4年卒(平成16年没)
 - 滝 伸 雄殿(昭和8年卒(平成16年没)